

過年度遡及関係

■2012年度版公式テキストと比較した場合の2013年度版公式テキストの主要な改訂箇所
(上巻)

テキスト編			ひな 型編	改訂箇所
2-1-2	【主要な経営指標等の推移】	p. 96		ハイライト情報と過年度遡及会計基準との関係
2-1-31	会計上の変更と誤謬の訂正	p. 236		項を新設
2-1-52 等	連結附属明細表・附属明細表	p. 332 等	上 58 等	「前期末残高」→「当 期首残高」

包括利益関係

■2012年度版公式テキストと比較した場合の2013年度版公式テキストの主要な改訂箇所
(上巻)

テキスト編			ひな 型編	改訂箇所
2-1-35	注記事項（連結包括利益計算書関係）	p. 259	上 41	新規に注記すべき事項 に対応

四半期報告書簡素化関係

■2012年度版公式テキストと比較した場合の2013年度版公式テキストの主要な改訂箇所
(下巻)

テキスト編			ひな 型編	改訂箇所
4 編 1 章	四半期報告書	p. 60 以降	-	2012年度版では独立した項目で解説していた簡素化について、通常通り開示項目ごとの解説の中で適宜解説

内部統制報告関係

■2012年度版公式テキストと比較した場合の2013年度版公式テキストの主要な改訂箇所
(上巻)

テキスト編			ひな 型編	改訂箇所
1編 4章	財務報告に係る内部統制	p. 48 以降	-	「重要な欠陥」→「開示 すべき重要な不備」

決算短信関係

■2012年度版公式テキストと比較した場合の2013年度版公式テキストの主要な改訂箇所
(下巻)

テキスト編			ひな 型編	改訂箇所
5編 1章・ 2章	決算短信・四半期決算短信	p. 146 以降	-	取引所の規則改正に伴 い改訂

I F R S 関係

■2012年度版公式テキストと比較した場合の2013年度版公式テキストの主要な改訂箇所
(下巻)

テキスト編			ひな 型編	改訂箇所
7編	I F R S	p. 339 以降	-	I F R S についての解 説を新設(出版時点では 試験範囲外)

本書出版時点では、第7編 I F R S については試験範囲外となっております。今後 I F R S の強制適用の時期等が確定された段階で、本検定における I F R S の取扱い方針を明確化する予定となっております。